

「基礎・基本の定着を図るための個に応じた指導法の研究(算数科)」  
～指導方法や指導体制の工夫改善を通して～

I 研究の内容

1 研究の方法と内容

- (1) 個に応じた指導方法や指導体制についての学習
- (2) 本校での「個に応じた指導を取り入れた単元指導計画・授業展開」の確立
- (3) 児童の算数科に対する実態調査
- (4) 個に応じた指導を取り入れた研究授業・授業実践
- (5) 特別支援の研究
- (6) 朝の学習の研究
- (7) 英語教育の研究

2 研究実践

(1) 研究授業

- ア. 高学年ブロックの研究  
4 学年「わり算の筆算(2)」 田邊珠紀教諭・田中ゆう子教諭
- イ. 低学年ブロックの研究  
2 学年「かけ算九九」 松井仁美教諭・田中ゆう子教諭

(2) 授業実践

- ア. 1 学年「20より大きい数」 広瀬みどり教諭・田中ゆう子教諭
- イ. 3 学年「3けたのたし算・ひき算」 三森敏彦教諭・田中ゆう子教諭
- ウ. 5 年1組「割合を表すグラフ」 中村直人教諭
- エ. 5 年2組「円周と円の面積」 山宮武徳教諭
- オ. 6 学年「比の表し方」 小林由紀子教諭
- カ. つくし学級「三角形と四角形」 三枝直美教諭
- キ. すみれ学級「三角形と四角形」 広瀬美穂教諭

II 成果と課題

1 成果

- ・理論研究を行い、個に応じた指導、補充学習、深化学習、友だちとの学び合い等について理解を深め、実践に生かすことができた。
- ・全員の授業実践は、個々の力になり、他の先生の授業から得るものも多く、教材研究を深めるよい機会となり、有意義だった。

2 課題

- ・一斉学習を行い、チェックテスト等でつまずきを見つけ、プリント等で個に応じた指導をしていく展開を、よりスムーズに行うための課題について明らかにする。
- ・T・T指導の方法や体制を工夫改善し、指導の充実を図る。

III 成果物

1 4 学年研究授業「わり算の筆算(2)」 田邊珠紀教諭・田中ゆう子教諭

学習段階	学習活動と児童の反応	留意点と支援の手だて
1. 式をたてる。	色紙が78枚あります。この色紙を1人に19枚ずつ分けると、何人に分けられて、何枚あまりますか。	*わる数の一の位の大きさが違うことでどのような見当がつけられるか考えさせる。

<p>2. <math>78 \div 19</math>の筆算のしかたを考える。</p> <p>3. 筆算のしかたを発表し、商の修正について考える。</p> <p>4. 練習問題に取り組む。</p> <p>5. 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◎ノートに筆算を書き、自力解決しようとする。</p> <p>○わる数の19を10と見て <math>70 \div 10</math>として、考える。</p> <p>○わる数の19を20と見て <math>70 \div 20</math>として、考える。</p> <p>◎2問をノートに計算する。</p> <p>◎問題を解いたら、答え合わせをし、「先問」プリントか「チョー先」プリントをする。</p> <p>◎「先問」プリントを終えた児童は、「チョー先」プリントか「レッツトライ」プリントをする。「チョー先」プリントを終えた児童は、「レッツトライ」プリントをする。</p> <p>・わる数の一の位が「7・8・9」の場合は、大きくして見積もりする。</p> <p>・たてた商が小さかったときは、商を大きくしていく。</p>	<p>☆19に近い何十の数は何でしょうか。</p> <p>*78を80と見て、<math>80 \div 20</math>として、4をたてる児童の考えも認める。</p> <p>*修正の必要ない問題と必要な問題を解く。</p> <p>☆あまりの大きさに留意させる。</p> <p>*修正が正確でない児童や時間がかかる児童には、「先問」プリントを、理解が十分な児童には、「チョー先」プリントをするようアドバイスする。</p>
--	--	---

2 2学年研究授業「かけ算九九」 松井仁美教諭・田中ゆう子教諭

学習段階	学習活動と児童の反応	留意点と支援の手だて
<p>1. 課題を知る。</p> <div data-bbox="183 1034 847 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「5の段を覚えて使おう。」</p> </div>		
<p>2. 5の段を確認する。</p> <p>3. 九九を練習し、覚える。</p>	<p>◎掲示された表を見ながら、全員で声をそろえて唱える。</p> <p>◎九九カードを使って九九を唱え、覚える。</p> <p>◎隣の人と九九を言い合い、間違えないで言えたら、カードに赤丸をつける。</p>	<p>*5ずつ増えていることを確認する。</p> <p>☆九九が言えない児童には、カードの裏を見て、数の大きさや唱え方を確認させる。</p>
<p>4. 文章問題を解く。</p> <div data-bbox="183 1368 847 1452" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>シュークリームが5こずつ入っている箱が6箱あります。全部で何こありますか。</p> </div>	<p>◎<math>5 \times 6</math>だ。</p>	<p>*絵を見ながら、「1つ分」は「5」、それが「6箱」あることを確認する。</p>
<p>5. 練習問題に取り組む。</p> <p>6. 本時のまとめをし、次時の内容を知る。</p>	<p>◎絵がついた文章問題のプリントをする。終わったら、絵がない文章問題のプリントをする。</p> <p>・九九を覚えると計算が速くできる。</p>	<p>☆式が立てられない児童には、「1つ分」に○をつけさせ、考えさせる。</p>

(研究主任 三森敏彦)